

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	韓国朝鮮語第一		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩(学内連絡教官 湯川 敬弘)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
dhyeom21@ybb.ne.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：韓国文化に触れ、韓国語で基本的な挨拶をできるようにする。 (b) 達成目標：韓国語で挨拶ができ、自分の名前が書けるようになることをめざす。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
改定版 『韓国語レッスン』初級? 金 東漢・張 銀英 共著 スリーエーネットワーク

【授業内容とその進め方】
入門の段階なので、前半は辞書の引き方、韓国語の読み方、基本的な挨拶を学習する。そのうえ、言語を学習するうえで最低限必要と思われる文化や社会事情を紹介し、一緒に考える。後半は名前の書き方などを学習する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 平常点(出席率など)： 40%

期末試験： 40%

課題など：20%

(b) 評価基準：以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

1. 出席率が60%以上であり、韓国語の構造を理解していること。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日と火曜日は授業の間。

それ以外の曜日は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

文化開放などで若者の交流がより活発になった日韓関係です。一番近い隣国、韓国を知り、韓国人にあつたら韓国語で挨拶ができるようにしましょう。

受講に当たってもっとも必要なものは朝鮮半島、そして韓国人への興味と関心です。

【その他】